

(様式6)

坂入 和也氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目 精神障害者の自然災害における準備教育の検討

(Study of education on natural disaster preparedness for psychiatric patients)

日本健康医学会雑誌 (印刷中)

坂入 和也, 日下 和代

論文の要旨及び判定理由

災害時要援護者である精神障害者は、避難や災害による生活の変化に影響を受けやすく、特別な配慮が必要である。本研究の目的は、精神障害者を対象とし、災害発生時に自分の命を守るためにどう行動すればよいのかという知識の獲得と、災害への備えの意識を高めることを目指した看護師による災害時準備教育を実施し、その有効性について検討することである。

対象者は精神科病院に入院中の患者22名であり、7人程度の小グループ活動の中で、1回30分程度の災害時準備教育に対する講義を5回開催した。講義に対する受け入れ状況を把握するために、介入の前後の気分の変化や精神的な動搖についてPOMS短縮版、ストレスコーピング能力 (Lazarus Type Stress Coping Inventory : SCI)についても比較検討を行った。POMS短縮版の6つの気分尺度について比較分析した結果、介入前は、有意な差は見られなかった。介入後は、「緊張不安」「抑うつ-落込み」の項目において、得点が有意に減少していた。ストレスコーピング能力は、介入前と介入後のどちらにおいても有意な差は見られなかった。平均値においては、介入後の方が「計画型」「社会的支援模索型」において、高い数値を示していた。

本研究により、精神障害者が自然災害時準備プログラムを受講し、それによって緊張や不安、抑うつや落込みを軽減させる。加えてストレスコーピング能力が、自然災害時準備プログラムという介入によって高められる可能性が明らかとなり、博士（保健学）の学位に値するものと判定した。

(平成31年2月18日)

審査委員

主査	群馬大学大学院教授 看護学講座	神 田 清 子	
副査	群馬大学大学院教授 看護学講座	近 藤 浩 子	
副査	群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	菊 地 千一郎	

参考論文

なし

(様式6, 2頁目)

最終試験の結果の要旨

方法論としての介入研究について、研究の評価指標の適切性についておよびプログラムの精神障害者と健常人の共通点と相違点について試問し満足すべき解答を得た。

平成31年2月18日

試験委員

群馬大学大学院教授

看護学講座

神田清子



群馬大学大学院教授

看護学講座

近藤浩子



群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

菊地千一郎



試験科目

介入研究について

合 否

研究の評価指標の適切性について

合 否

プログラムの精神障害者と健常人の共通点と相違点

合 否

(様式7)

平成31年2月18日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

主査 群馬大学大学院教授

神 田 清 子



副査 群馬大学大学院教授

近 藤 浩 子



副査 群馬大学大学院教授

菊 地 千一郎



学位論文審査委員会報告書

1 氏名 坂入 和也

1 主論文

精神障害者の自然災害における準備教育の検討

(Study of education on natural disaster preparedness for
psychiatric patients)

日本健康医学会雑誌（印刷中）

坂入 和也, 日下 和代

1 参考論文

なし

1 審査結果

A, B, Cなど

平成31年2月18日審査委員会を開き主題の論文につき審査の結果、上記のとおり判定議決しましたので報告します。

(様式8)

平成31年2月18日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

委員 群馬大学大学院教授

神田清子



委員 群馬大学大学院教授

近藤浩子



委員 群馬大学大学院教授

菊地千一郎



博士後期課程最終試験成績報告書

氏名 坂入和也

試験科目

介入研究について

合・否

研究の評価指標の適切性について

合・否

プログラムの精神障害者と健常人の共通点と相違点

合・否

平成31年2月18日試験を行い、上記のとおり判定しましたので報告します。